

令和4年2月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川
TEL/FAX (0770) 62-0330



熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>

鯖街道 熊川宿

令和3年【第22回】

熊川宿 時代村

実施報告

6月16日(水)

実行委員会事務局 立ち上げ

昨年(R2)はコロナ禍により全面的に中止しましたが、今年(R3)は県や町の指針に沿って感染対策をしっかりと行い、出来ることを行いたいと開催条件を設定し、開催と中止の両方向で進めることとなりました。プレイイベントや前夜祭を企画し、SNSを活用して熊川宿へ来訪せずに参加出来るイベントなども検討しました。

9月1日(水)～10月2日(土)

プレイイベント開催

「#第22回 熊川いっぶく時代村 インスタ映えコンテスト」を初めて開催しました。熊川宿観光組合と連携して加入店協力のもと「熊川お散歩クイズラリー」を行いました。期間中、回答者にはお店で500円の割引が受けられるもので、第1弾と第2弾の2回、クイズ用紙を発行し多くの利用がありました。

9月14日(火)

当日イベントは「開催中止」を決定

9月14日の時点で、「特別警報」の状況下であり、10月3日の当日には収まり切らないことが予想されたので、企画委員会において、当日イベントの「開催中止」が決定されました。

10月2日(土)

前夜祭開催

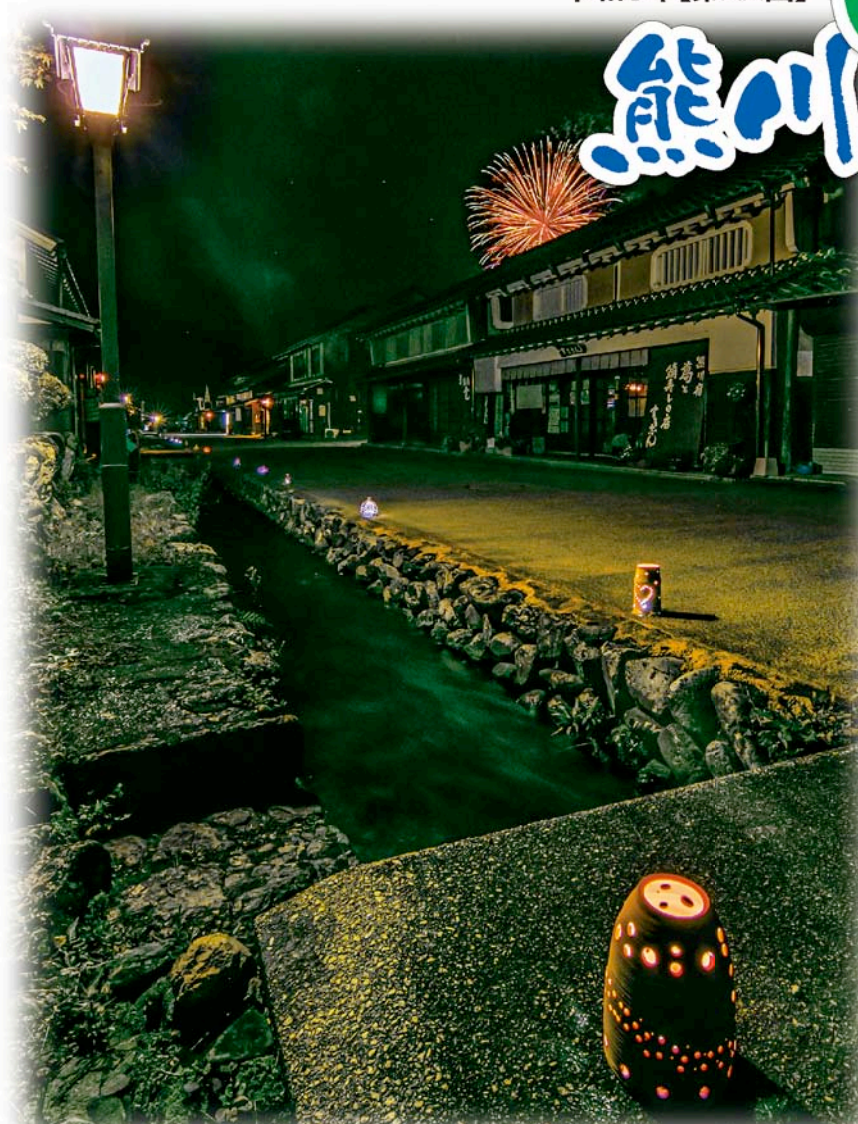
「街かど陶の灯り展」は、街道に約50基のLEDを灯した陶器の灯りが並びました。熊川宿の街灯や家々のこもれ灯と相まって情緒ある夜景が楽しめました。

「熊川城跡ライトアップ」は、陣屋跡から城跡に向かって水銀灯2台で投光し、幻想的な城跡が浮かび上がりました。

「打上げ花火」は、若狭三方五湖観光協会と熊川宿観光組合のコラボ企画で実施しました。3号玉やスターマインなど約480発が秋の夜空を彩りました。熊川地区での打上げ花火は「初」ということもあり、来訪された多くの方から「よかった」の感想が届きました。(2ページに続く)

目次

熊川いっぶく時代村	1・2
研修報告	3
事業報告・活動報告	4
活動報告・NEWS	5・6



#第22回 熊川いっぶく時代村 インスタ映えコンテスト グランプリ作品

10月17日(日)
アフターイベント開催

外部へのPRを一切行わず、熊川地区の皆さんと当日居合わせたお客様を対象にアフターイベントを実施しました。プリキの金魚レースのノウハウを次の方へ引き継ぐ目的も兼ねています。午前中の小雨と強風で急遽本部を熊川児童館内に移しました。

「プリキの金魚デモレース」では、設定した40匹のエントリーに加えて時間差で60匹を流し、入賞賞金や参加賞を設けました。

「熊川城跡&名所めぐりクイズラリー」にも家族連れやグループが参加され、正解者に景品が当たる抽選くじを実施しました。

若狭三方五湖観光協会から子どもたちに風船の無料配布もありました。肌寒い一日でしたが、多くの参加があり、久しぶりの賑わいを感じました。



インスタ映えコンテスト作品選考
プチアンケート集計

プレイイベントで行った「インスタ映えコンテスト」に期間中、30名250点を超える投稿がありました。前夜祭のベストショットをはじめ、癒しスポットや微笑ましいひとコマなど多くの素晴らしい作品をお寄せいただき、熊川宿の魅力を再確認しました。

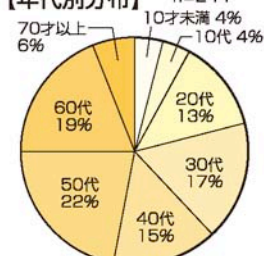
10月12日に事務局で選考を行い、グランプリ1名、特選10名などが決定、後日賞品を発送しました。なかでも熊川宿特産品セットは好評でした。上位入賞作品は、熊川地区文化祭でも展示しました。

プレ・アフターイベントで行った「クイズラリー」のプチアンケートに多くのご協力をいただき、後日、集計を行いました。

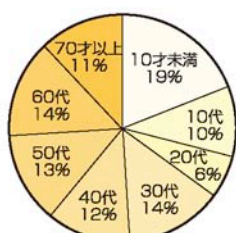
例年とは異なる熊川いっぷく時代村でしたが、小規模ながらも大いに楽しんでいただけたようです。

プチアンケート集計結果より

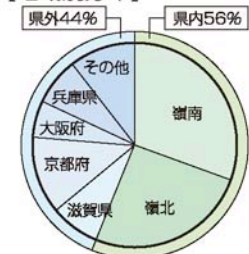
プレイイベント来客状況
【年代別分布】 n=244



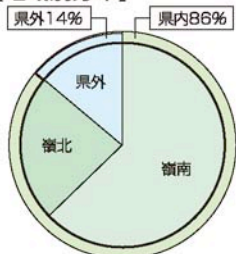
アフターイベント来客状況
【年代別分布】 n=95



【地域別分布】



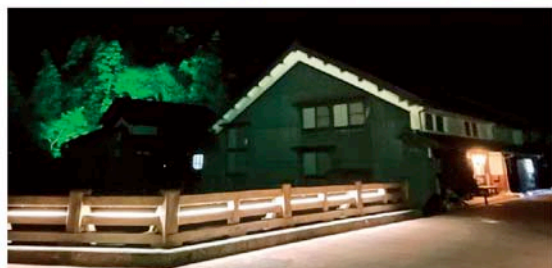
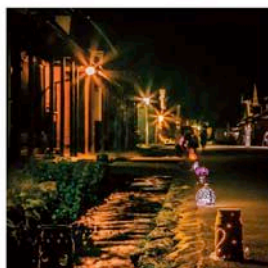
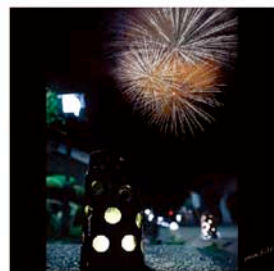
【地域別分布】



ひとことメッセージ(抜粋)

- ・気持ちがあっさりしてまた来たいです
- ・地元の方や店員さんがとても親切でした
- ・コロナ禍がんばってください
- ・熊川城跡は涼しく気持ちよかったです
- ・日常から離れ、この町並みと人に癒されています
- ・クイズラリー楽しかった
- ・だんだん賑やかになってうれしいです
- ・いつ来ても季節によってそれぞれ趣きがありますね！

#第22回 熊川いっぷく時代村
インスタ映えコンテスト投稿作品より



信州歴史的まちなみフォーラム in 小諸

信州の歴史的まちなみネットワーク小諸大会 全国町並み保存連盟 北陸甲信越ブロックゼミ小諸大会

と き：令和3年10月16日(土)
ところ：長野県小諸市・ベルウィン小諸 報告：宮本哲男

大会に合わせて前日入りし、長野県小諸市の本町区まちづくり推進協議会の皆さんと意見交換をさせていただきます。

当日午前中、旧北国街道沿いの町並みを散策。ほんまち町家館へ集合した一行は、小諸城跡大手門へ藤村の散歩道へ荒町へ海王院へ旧北国街道へ商家の町並みとご案内いただきました。

信州の山々に囲まれた高原の城下町小諸は、北国街道の要衝の宿場町として江戸時代から商業が発達。明治・大正は豪商の町として知られました。

平成12年から「街づくり環境整備事業」に取り組み、84軒の建物の修理修景が行われ町並み整備が進んでいました。

現在では世代交代も進み、次世代の方々による出店も増えていますが、一方で空き家の活用が進まないところもあるようです。

午後のフォーラムでは、小泉小諸市長の挨拶に続き、小諸の町並み再生の取り組み報告がありました。基調講演は、全国町並み保存連



メイン会場(ベルウィン小諸)



商家の町並み



小諸城跡大手門



まち歩きスタート

盟理事長福川裕一氏が「歴史の町並みが地域のブランドをつくる」をテーマに講演されました。

各地からの報告では、NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会、若狭熊川宿まちづくり特別委員会、新潟まち遺産の会がそれぞれ近況報告をしました。

第44回 全国町並みゼミ奈良大会

と き：令和3年11月12日(金)13日(土)
ところ：奈良県奈良市・奈良まち 報告：宮本哲男

私たちが守ろうとしてきた地域社会の暮らしを豊かにしてきた「町並みに代表されるまちの資産とは何なのか、誰が、どのように受け引き継ぐのか？」を改めて考える大会でした。

1日目は、総合受付の後、5つの会場に分かれて分科会①まちづくり、②建築物、③生活文化、④継続性、⑤担い手からスタート。熊川宿からは2名が第5分科会へ参加しました。

第5分科会は、「町の良さの伝え方」ニューヒーローの思いをテーマに、新たな視点でまちづくりを担う若い方がパネラーになり、それぞれの活動のきっかけや将来の展望、課題についての意見交換会となりました。

近年の熊川宿も諸先輩の努力により、地域のブランド力の高まりとともに、熊川宿で新たな事業にチャレンジする方の移住や出店が増える傾向にあります。分科会では、チャレンジする若い世代と地域とのコミュニケーションについて色々な面から議論され、若い世代が活動しやすいコミュニテ

イを提供することが大切だと改めて認識しました。

夜は峯山富美賞贈呈式、各地からの報告が行われ、交流会では真壁の皆さんとも再会しました。

2日目は、シンポジウム、全体会が開催され、朗読劇、奈良町まちづくりシンポジウム、事例発表・分科会報告が行われ、大会宣言が採択され、次回開催地の新潟市へ大会旗が継承されました。

最後に全国町並み保存連盟の殿塚副理事長から、地元の方々や学生スタッフの皆さんに謝辞を述べられ閉会しました。

今回は現地で行うリアル参加とオンラインの併用で開催され、新しい町ゼミの開催方法となりました。

今回も現地で行うリアル参加とオンラインの併用で開催され、新しい町ゼミの開催方法となりました。



朗読劇



真壁の皆さんと再会



第5分科会

近隣火災通報システム更新事業

熊川宿は家並みが連続するため、昔から火災が多かったことと、近年の高齢化で災害に対する不安の声が出始めたことから、平成20(2008)年度に町と協働で「伝建地区熊川宿の防災まちづくり計画」を策定、平成21年度に「熊川区自主防災会」を設立し、毎年、熊川区自主防災デ―を開催するなど自主防災活動を推進してきました。そして、平成23(2011)年には、火災報知器の設置が義務付けられたことから、近隣火災通報システムを行政の補助を受けて構築しました。以後の自主防災デ―は、地震による火災発生を想定し、このシステムを動作させ、迅速な初期消火と区民の安否確認を中心とした訓練を繰り返してきました。令和元(2019)年12月には、文化財宅の一階居間から出火し火災報知器が動作、このシステムで通報を受けた両隣の住民らが協力して初期消火を行い、ボヤで鎮火させました。そのシステムがこのほど10年を迎え不具合も発生してきたことから、伝建防災事業で熊川区145軒(空き家・公開施設を含む)にワイヤレス連動型住宅用火災報知器977器を更新設置しました。

■更新事業の経緯

令和2年度・関係行政と共に事業計画を策定し、伝建審議会、文化庁・県とのヒヤリングを経て国・県の補助交付が決定
令和3年4月・熊川区総会で近隣火災通報システム更新実施について承認
5月・自主防災役員会で具体的な進め方、概算予算などについて説明
6月・町予算成立、調査票準備
8月・組長を通じ、設置箇所全戸調査

9月・詳細設計、入札準備
10月・補助金交付申請、業者決定、令和3年度自主防災会予算案の承認
10月～12月・個別設計書に基づき、現地で親子間の電波の到達を確認しながら施工
12月・文化庁現地指導、自主防災デ―を開催し完了報告と研修の実施、完成検査



消火器・火災報知器の講習

近隣火災通報システム設置工事のお礼

晩産業株式会社 敦賀営業所 所長 吉田 悠介

させて頂き心が温かくなりました。

熊川区の皆様、この度は火災警報器の設置工事でお世話になり誠に有難うございました。弊社は「福井を消防防災度で世界一にするのが私達のつとめです」熊川区様は十年前、防災まちづくり大賞日本一の実績を既にお持ちです。今回の工事で一軒茶や珈琲を飲んでいらないか、と声を掛けて頂いたり、防火の神様の権現さんの事を教えて頂いたりと兎に角、楽しく仕事を

熊川区の皆様は心温かい上に団結力が素晴らしいです。熱心に訓練をされる姿や自分達の町は自分達で守るという防災意識の高さを見れば一目瞭然です。正に自助、互助、共助の防災の実践を区が一体となり地域ぐるみで取組まれています。この近隣火災通報システムは皆様がお持ちの心温かさや団結力が無いと成立しません。今後盛り返り上がり世界一の町になる事を願っています。

荻野家住宅 特別公開

荻野浩史・荻野家応援団・熊川区若狭熊川宿まちづくり特別委員会

10/24 荻野家住宅の片付けに協力
熊川区、まちづくり委員会の有志らが片付けや清掃のお手伝いを行いました。家財道具の鑑定に、熊川に出店している古物鑑定店のプロにもご協力いただきました。

11/28 荻野家住宅 特別公開
8名、4回のコースで見学会が開催されました。店の間に加え、中の間と座敷・付属屋・表荷蔵・石畳・路地が公開され、県生涯学習・文化財課の今出さんの案内でございました。いただきました。見学後には、当主の荻野パティシエによる手作りスイーツが振る舞われました。



内部見学



スイーツで休憩



8/8

今庄宿の皆さんが研修

(熊川宿まちづくり委員会対応)

福井県で3番目の重伝建選定を受けた今庄宿のまちづくり推進協議会の皆さんが視察・研修に来られました。それぞれが抱える課題や取り組みについて、行政、まちづくり団体、新規出店者の立場から熊川宿の取組みを説明し、予定時間を越えて色々な観点から意見交換をしました。



8/4

伝建地区保存審議会

(若狭町)

教育委員会の諮問に応じ保存地区の建物の修理・修景等に関する重要事項について調査・審議するもので、委員全員で現地を確認し、旧逸見勘兵衛家で審議を行いました。保存修理事業対象の田中邸(旧松崎邸)並びに菱屋の土蔵の4年度の修理事業計画について承認されました。



7/25

ケイトウの苗配布

(熊川宿まちづくり委員会)

夏の社会奉仕に合わせて、県の総合グリーンセンター主催の「クリーンアップ&フラワー大作戦」で受領したケイトウの種まきセットの苗を配付しました。今年も矮性(小さい品種)で、各世帯への配付の他に駐車場等へも定植し、後にいづれも綺麗に咲いていました。



10/22

文化財活用地域資源セミナー

(若狭町)

(公財)滋賀県文化財保護協会の文化財の活用を通じた地域資源化セミナー5で、「地域文化財を活かすまちづくり」をテーマに、若狭町観光未来創造課の西村課長補佐と宮本会長がリモート会議に出席し、若狭町と熊川宿の観光やまちづくりについて報告、意見交換をしました。

その中で、観光庁から、「より多くの地域の魅力を引き出し、熊川宿エリアの各観光コンテンツをより広く知ってもらうため、熊川宿のホームページをリニューアル・整備する形で地域全体の魅力発信を」とのアドバイスを受けて検討に入りました。まちづくり役員会で、村田代表や(株)デキタの時間代表からリニューアルプランについて提言や説明があり、意見や要望が出されました。今後、定期的な内容を確認しながらリニューアルを進めていきます。



8/25

熊川宿HPリニューアル検討

(熊川宿まちづくり委員会)

観光庁が主催する「アドベンチャーツーリズム等の新たなインパクト層の誘致のための地域の魅力再発見事業」に、菱屋にオフィスを構える(株)プラスワイルド(村田代表)が、若狭町内で行う「沢登り」の磨き上げ・魅力発信事業に応募したところ採択されました。



11/3

伝建保存修理修景補助審議

(若狭町)

今年度から設置された制度で、新たな出店者等が希望する、町並みに調和させるための小規模な修理修景に対する補助について、地元委員を中心とした伝建審議委員で審議しました。対象物件に対して審議の上、現地確認を行い全員一致で承認されました。



10/23

「麿香武将印」販売開始

(若狭町)

2020年、明智光秀の熊川来訪450年を記念して発売した「熊川城御城印」に続き、「麿香武将印」の販売を開始しました。麿香は、初代細川幽斎を支え、細川忠興・ガラシャへと続く細川家のルーツとなった熊川ゆかりの人物です。宿物館で購入でき、記念のしおりや熊川城跡解説パンフレットが付いています。



10/23

「熊川城を巡ろう」現地ツアー

(若狭町・熊川宿まちづくり委員会対応)

ふくい城巡りプロジェクト実行委員会の現地ツアー企画第2弾として、熊川城巡りへ県内各地からお越しいただきました。熊川陣屋跡から、若狭町歴史文化課永江館長と小島学芸員に熊川城の歴史や遺構などの解説をしていただきながら、みんなで攻城しました。



11/22

熊川エリア開発会社設立

(株)デキタを含む地域の民間企業4社と若狭町とで出資した熊川エリア開発のための会社(株)クマツゲが設立されました。社名には、「継ぐ」と「次ぐ」の思いが込められていて、熊川宿古民家のさらなる活用や、河内川ダム周辺のキャンプ場などのアクティビティ開発が進められていきます。



11/17

大阪府高齢者大学校で講義

シニア世代を対象に社会で活躍できる多種多様な講座を開設している「ローカル文化探検科」で「宿場町の暮らしと文化」をテーマに熊川宿のまちづくりについて、まちづくり、ひとづくり、自主防災活動、空き家対策など、宮本会長が2時間たっぷりお話しさせていただきました。



11/5

上中中ふるさと学習に協力

(熊川宿まちづくり委員会対応)「若狭町の魅力を調べる学習」で、上中中1学年の2つのグループが来訪しました。生徒たちは2班に分かれ、宮本会長からまちづくりや時代村について学びました。12月10日には校内で学習発表があり、チャンネルOでも放映されました。



11/30

文化庁調査官と語る会

(若狭町ほか) 村上調査官や県文化財課の今出氏・新藤氏、今庄宿・小浜西組の皆さんをお迎えし、意見交換会が行われました。村上調査官からは、若い女性ならではの視点から、特徴ある取組みの伝建地区をご紹介いただきました。続いて3地区の近況報告や調査官への質疑応答がありました。

熊川宿まちづくり憲章は、他地域の憲章に比べ表現がソフトであること、様々な住民とのコンセンサスを図りながら苦労して作成されたものと改めて理解しました。後半は食事を兼ね、憲章のこれからについて意見交換し、熊川いっぶく時代村やまちづくり活動についても紹介しました。翌日は、荻野家特別公開に参加されたほか、熊川宿や熊川城跡、河内川ダムを見学されました。



11/27

國學院大石山准教授とヒアリング

(熊川宿まちづくり委員会対応) 全国のまちづくり憲章を調査研究しておられる國學院大學石山准教授が来訪されまちづくり役員と懇談しました。國學院大學では、8月に「観光まちづくり学部観光まちづくり学科」が認可され、令和4年4月に開設されます。ヒアリングで石山准教授から、妻籠宿や白川郷、竹富島の憲章の概要や、昨年12月にZoomでの情報交換を元に解析された熊川宿まちづくり憲章に関する考察をいただくと共に、永江館長から、重伝建選定以前から草案されていた住民憲章の案や論議について説明がありました。

～あとなぎ～

- ◇令和3年の熊川いっぶく時代村は、当日イベントは中止。プレイベントや前夜祭、アフターイベントを実施しました。
- ◇近隣火災通報システムが10年を経過し、更新しましたので報告いたします。
- ◇新型コロナウイルスは、10月に入り小康状態を見せましたが、オミクロン株の感染拡大が懸念されます。引き続き、感染防止に心がけていきたいものです。



12/12

熊川区自主防災隊ー

(熊川区自主防災会) 地震による火災発生から近隣火災通報システムの動作、近隣住民による初期消火、各組長による安否確認の訓練を行いました。その後、熊川児童館で、産業さんにも加わっていただき、自主防災会役員と自衛消防団員を対象としたワイヤレス連動型火災報知器の講習会を実施し理解を深めました。



12/1

村上調査官による現地指導

(若狭町ほか) 11月30日に小浜西組、12月1日に熊川宿・今庄宿の伝建保存地区の修理修景に関する現地指導をいただきました。熊川宿の今年度事業は、田中邸の主屋修理、近隣火災通報システム更新です。来年度は菱屋の土蔵、田中邸の付属屋が対象になり、現地を確認いただきました。

訃報 令和3年8月8日、河合前会長が逝去されました

河合健一氏は、上中町(当時)議会議員などを経て、平成7年より20年の長きに亘り、若狭熊川宿まちづくり特別委員会会長を務められ、熊川宿のまちづくりに尽力されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。